

福山民報

福山民報社
福山市津之郷町
津之郷 970-1
Tel.084-952-2662
FAX084-952-2660



第97回福山地区統一メーデーが開催

働く者の団結で平和守ろう

5月1日、福山城公園で行われた福山地区統一メーデーに、約90名の各分野で働く労働者が集まり、福山駅周辺を進行して労働者の要望を訴えました。



集会に参加した河村県議と三好・塩沢両市議

生活と権利を守り、平和と民主主義を！

集会では、国鉄労組、ユニオンたんぽぽ、全教の代表者がリレートークし、各現場での労働実態を訴えました。

採択されたメーデー宣言では、イラン戦争など世界的に民主主義と平和が危機的な状況にある下で、高市政権が憲法改悪や労働基準法改悪など、平和国家と労働者の権利を壊す策動を進めていることが指摘されています。世界の労働者との連帯で平和の実現を進め、憲法9条を守り大軍拡を許さず、物価高を上回る大幅賃上げで、国民の暮らしと経済の改善をはかる運動を進めていくこと呼びかけられました。

79年目の憲法記念日に駅前から訴え

憲法守れと声を上げよう！

3日、日本共産党市議団は河村ひろ子県議とともに、憲法記念日の街頭宣伝を福山駅前で行いました。

みよし剛史市議は、「高市首相は今後1年以内に改憲発議を行うと明言したが、憲法は国民を守るために国家を縛るもので、首相こそ憲法を守らなければならない。」「塩沢みつえ市議は、「武器輸出の解禁で、日本製の武器で殺し殺される事態が発生することが起こり得る。戦争が当たり前前の社会にしてはならない。」と訴えました。



憲法記念日宣伝で駅前利用者に訴える

河村県議は、「今ほど改憲の動きが危険な時はない。狙いは9条。先制攻撃も海外派兵もできる『戦争する国』へ、日本を変えようとしている。しかし全国では人々が集い憲法を守れと声をあげている。私たちも声を上げましょう。」と呼びかけました。

憲法守る政治が必要 市民の力で転換を！

戦後80年、日本は一度も戦争に参戦せず、自衛隊は一人の外国人も殺さず、戦死者も出していません。国民、自衛隊員の命が守られてきたのは、憲法9条が「盾」の役割を果たしてきたからにほかなりません。

日本共産党議員団は、平和を求める幅広い市民と連帯し、憲法改悪を許さないたたかいの先頭にたって奮闘する決意です。

市内高校を守るための要望を提出

強引な統廃合は見直しを

5月8日、「広島公立高校を守る会・福山の会」が広島市長と小林教育長宛ての要望書を提出しました。

市教委総務課長が対応し、日本共産党の河村ひろ子県議、みよし剛史、塩沢みつえ両市議が同席しました。

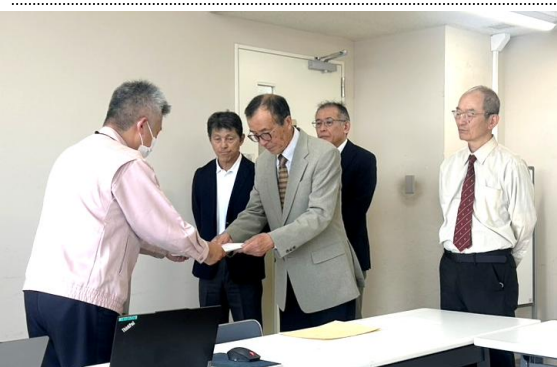
福山の統廃合は続行 4校を1校に集約

福山市の統廃合は見直しせず、小規模・定時制・通信制の4校を廃止し、松永高校へ集約する方針です。

県教委は都市部の「1学年4学級未満」見込みの高校を統廃合する方針で、今年1月に対象校を公表予定でしたが、昨年末に22校を9校に再編する計画であることが報道で明らかになりました。1校では進学機会が失われかねない。」と訴えました。

各地で反対の声 見直しが迫られる

強引な計画に各地で反対の声が上がったことで県教委は見直しを迫られ、2月に県議会へ報告された素案では、呉市・尾道市の4校を除く外し、18校を7校に統合する内容でした。



要望書を渡す母親大会実行委員会のメンバー